

宮城県感染症発生動向調査情報(第15週)

宮城県【平成25年04月18日】発行
 宮城県保健環境センター
 TEL (022)257-7228

— 2013.4.8 ~ 4.14 ・ 第15週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	累計	第12週	第13週	第14週	第15週
水痘	6 1.20	13 1.30	3 0.60	5 2.50	8 2.67	6 1.20		16 0.62	57 0.98	1,153	◎ →	◎ →	◎ →	◎
流行性耳下腺炎		3 0.30			1 0.33	1 0.20	3 1.50	2 0.08	10 0.17	370	○ →	レ →	→	
百日咳						1 0.20			1 0.02	8	→	→	→	
感染性胃腸炎	25 5.00	52 5.20	13 2.60	13 6.50	22 7.33	27 5.40	6 3.00	201 7.73	359 6.19	5,944	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	1 0.20							1 0.04	2 0.03	148	→	→	→	
伝染性紅斑	1 0.20			1 0.50				8 4.00	1 0.04	11 0.19	127	→	→	→
突発性発しん	3 0.60	5 0.50	5 1.00	1 0.50	3 1.00	3 0.60	1 0.50	16 0.62	37 0.64	495	○ →	○ →	○ →	○
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	23 2.88	8 0.53	15 1.88	4 1.33	9 1.80	8 1.00	7 1.75	38 0.90	112 1.20	14,679	◎ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱		3 0.30		2 1.00		2 0.40		8 0.31	15 0.26	244	○ →	レ →	→	
流行性角結膜炎	1 1.00	3 1.00						3 0.50	7 0.58	33	→	→	→	
急性出血性結膜炎		1 0.33							1 0.08	4	→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17 3.40	18 1.80	7 1.40	3 1.50	3 1.00	21 4.20		23 0.88	92 1.59	1,602	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1 0.20	1 0.08	4	→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎		1 1.00	4 4.00			2 2.00	2 2.00	3 0.60	12 1.00	307	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)			2 2.00						2 0.17	13	→	→	→	
RSウイルス感染症						4 0.80		4 0.15	8 0.14	197	→	→	→	
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		4	2				1	2		◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病	1							1		【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
	不明発疹症								4					

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

仙南管内 男性1名
 塩釜管内 男性1名、女性1名
 大崎管内 男性1名、女性1名
 石巻管内 女性1名
 仙台管内 女性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: 梅毒

塩釜管内 男性1名

風しん

仙南管内 男性1名*(臨床診断例)
 塩釜管内 男性1名(第14週、検査診断例)
 石巻管内 男性1名(第14週、検査診断例)

今週のインフルエンザによる入院患者報告 1例
 (仙台市を含む基幹定点報告)

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【風しん】

先週に引き続き、仙南、塩釜、石巻管内で報告があり、中には接触感染事例も見られることから、今後も拡大する可能性もあるので注意を要する。

【伝染性紅斑】

気仙沼管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第13週採取分 (3.25～3.31)	第14週採取分 (4.1～4.7)	第15週採取分 (4.8～4.14)
インフルエンザウイルスB型	0件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	4件	0件	0件
RSウイルス	5件	2件	0件
アデノウイルス	1件	1件	1件
ヒトメタニューモウイルス	4件	0件	0件

インフルエンザ定点

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。宮城県:51定点 仙台市:42定点 合計:93定点

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群 (%)	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2013年 第8週		21.2	27.7	17.6	3.7	5.2	6.8	5.4	4.9	3.6	2.6	1.5	1,008
第9週		23.1	27.3	20.4	3.8	3.2	6.6	6.4	3.8	2.5	1.3	1.6	761
第10週		22.5	29.2	17.3	4.3	5.0	7.5	4.5	3.9	2.9	2.0	1.1	561
第11週		20.3	31.7	11.2	3.7	6.1	8.8	4.3	4.8	3.7	3.5	1.9	375
第12週		21.6	30.0	14.1	3.8	0.9	6.1	8.0	4.7	4.7	1.9	4.2	213
第13週		20.5	22.0	16.1	4.4	8.8	7.8	6.3	6.3	3.4	2.9	1.5	205
第14週		25.2	24.5	8.8	3.8	3.8	15.1	8.2	3.8	3.1	1.9	1.9	159
第15週		26.8	24.1	9.8	3.6	6.3	6.3	6.3	4.5	2.7	1.8	8.0	112

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第13週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別では石川県(13.40)、宮崎県(11.53)、愛知県(11.13)、山口県(10.74)、三重県(10.60)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は741例と第9週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約79%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。佐賀県(0.83)、宮崎県(0.78)、大分県(0.75)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は3週連続で減少した。石川県(4.93)、富山県(4.10)、福井県(4.09)が多い。感染性胃腸炎: 報告数は3週連続で減少した。大分県(15.69)、島根県(14.09)、福井県(12.73)が多い。水痘: 報告数は2週連続で増加した。宮崎県(3.56)、山口県(2.60)、佐賀県(2.43)が多い。手足口病: 報告数は横ばいであった。沖縄県(1.35)、福岡県(1.03)、島根県(0.78)が多い。伝染性紅斑: 報告数は減少した。新潟県(0.32)、富山県(0.24)、岩手県(0.18)が多い。百日咳: 報告数は2週連続で増加した。新潟県(0.08)、大分県(0.08)、高知県(0.07)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は2週連続で増加した。長崎県(0.52)、佐賀県(0.26)、山口県(0.09)、沖縄県(0.09)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は横ばいであった。福井県(1.55)、佐賀県(0.96)、秋田県(0.94)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は減少した。青森県(2.00)、富山県(1.80)、佐賀県(1.33)が多い。

【HIV感染者、AIDS患者累積報告数】 平成24年12月30日現在

	HIV感染者	AIDS患者
宮城県	101(2)	67(0)
全国	14,705(257)	6,717(114)

()内は平成24年10月1日～平成24年12月30日分の報告数である。
 国立感染症研究所・感染症情報センター IASR2013年3月報より